

会 議 録

会議の名称	令和4年度 第2回清瀬市高齢者保健福祉計画（介護保険事業計画）評価策定委員会														
開催日時	令和4年10月25日（火） 14：00～15：30														
開催場所	清瀬市役所4階研修室1・2 オンライン開催（zoom）														
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">浅見 良子</td> <td style="width: 50%;">江藤 勝利</td> </tr> <tr> <td>遠藤 志のぶ</td> <td>大島 千帆</td> </tr> <tr> <td>小川 和夫</td> <td>國眼 眞理子</td> </tr> <tr> <td>小滝 一幸</td> <td>島田 尚範</td> </tr> <tr> <td>下垣 光</td> <td>田代 文子</td> </tr> <tr> <td>富田 幸子</td> <td>星野 孝彦</td> </tr> <tr> <td>望月 正敏</td> <td></td> </tr> </table>	浅見 良子	江藤 勝利	遠藤 志のぶ	大島 千帆	小川 和夫	國眼 眞理子	小滝 一幸	島田 尚範	下垣 光	田代 文子	富田 幸子	星野 孝彦	望月 正敏	
浅見 良子	江藤 勝利														
遠藤 志のぶ	大島 千帆														
小川 和夫	國眼 眞理子														
小滝 一幸	島田 尚範														
下垣 光	田代 文子														
富田 幸子	星野 孝彦														
望月 正敏															
欠席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">中島 美知子</td> <td style="width: 50%;">前川 政美</td> </tr> <tr> <td>山本 清美</td> <td></td> </tr> </table>	中島 美知子	前川 政美	山本 清美											
中島 美知子	前川 政美														
山本 清美															
次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 事務局からの説明 <ul style="list-style-type: none"> ・委員の変更について ・議事録の公開について 3 議題 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画策定にかかるアンケート調査項目についての検討 4 事務局からの連絡事項 5 閉会 														
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 第1回評価策定委員会 議事録 3 アンケート調査案 日常生活圏域ニーズ調査 4 アンケート調査案 在宅介護実態調査 5 アンケート調査案 事業所調査 														
次第 1. 開会	<p>【事務局】</p> <p>それでは定刻となりましたので、ただいまから、令和4年度第2回清瀬市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画評価策定委員会を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、ご多用の中、本会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。私は本日司会を務めます生涯健幸部介護保険課長の藤村でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>なお本日も、前回と同様にオンラインと参集型のハイブリッドでの開催でございます。進行に際して至らない点もあるかと思いますが、どうぞご容赦願います。</p>														

	<p>また、本日オンラインで会議に参加されている方にお問い合わせがございます。通常状態では、カメラはオン、音声はミュートにさせていただきようお願いいたします。会議中、ご発言をされる際には、挙手又は手を挙げるスタンプでお示しいただき、こちらから発言の指名を受けた後にご発言いただきますようお願いいたします。なお、発言の際にはミュートを解除していただくようお願いいたします。</p> <p>なお、本日、山本委員と前川委員より御欠席のご連絡をいただいております。それでは、次第に沿って議事を進行させていただきます。次第の1番 開会のご挨拶を、下垣委員長、お願いいたします。</p> <p>【委員長】</p> <p>皆さんこんにちは。今回の評価策定委員会のメインはアンケート調査です。皆さんのご意見をいただいて作成したのですが、気になる点があれば、是非活発なご質問・意見交換の方をお願いします。私の挨拶はこれくらいにしたいと思っておりますので、早速よろしくをお願いします。</p> <p>【事務局】</p> <p>下垣委員長、ありがとうございました。つづきまして、本日の会議の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>先日、事務局より送付いたしました資料をお手元にご用意願います。まず、本日の次第でございます。次に、前回の会議の会議録でございます。次に、計画策定に向けたアンケート調査案、こちらは3種類に分かれておりまして、「清瀬市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」、「清瀬市在宅介護実態調査」、「清瀬市サービス事業所調査」となっております。そして最後に、意見書用紙でございます。</p> <p>以上、お手元がない方いらっしゃいますでしょうか。大丈夫でしょうか。</p>
<p>次第</p> <p>2. 事務局からの説明</p> <p>・委員の変更について</p> <p>・議事録の公開について</p>	<p>【事務局】</p> <p>つづきまして、次第の2番、事務局からの説明でございます。</p> <p>まず、委員の変更についてです。本委員会委員に異動がございましたので紹介いたします。清瀬市シニアクラブ連合会より、金子 勝治委員にご着任いただいておりますが、一身上の都合により令和4年9月30日付で委員を辞退され、その後任として、山本 清子委員に10月1日付でご着任いただいております。</p> <p>以上、紹介でございます。</p> <p>つづきまして、会議録の公開についてです。先日、委員の皆様へ前回の会議の会議録を送付させていただきました。会議録についてお気づきの点等がございましたら、10月28日（金）までに事務局へご連絡をお願いいたします。訂正箇所等があれば、修正等をした後に市のホームページにて公開させていただきます。</p> <p>事務局からの説明は以上でございます。</p>

<p>次第</p> <p>3. 議題</p> <p>・高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画策定にかかるアンケート調査項目についての検討</p>	<p>【事務局】</p> <p>つづきまして、次第の3番、本日の議題の進行は、下垣委員長にお願いしたいと存じます。下垣委員長よろしくお願いたします。</p> <p>【委員長】</p> <p>では議題に入りたいと思います。高齢者福祉計画第9期介護保険事業計画に係るアンケート調査についての検討ということで、事務局より説明をお願いします。</p> <p>【事務局】</p> <p>それでは、アンケート調査の内容について、前回からの修正点を踏まえてご説明させていただきます。なお、前はアンケート調査の質問や選択肢等を一覧表にした形でお示ししておりましたが、今回は実際にアンケート調査として送付する形に整えて、資料として皆様にお配りしております。</p> <p>表紙からは分かりにくいですが、各調査の説明文の真ん中あたりに、「本調査は、令和4年10月1日時点で介護保険の認定を受けていない65歳以上の方と、介護保険で要支援1・2の認定を受けている方、合計約1,600名を無作為抽出して行います。」と記載しているものが清瀬市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査でございます。</p> <p>同じく説明文の真ん中あたりに「本調査は、令和4年10月1日時点で介護保険において要介護1～5の認定を受けており施設入所されていない方 約1,000名を無作為抽出して行います。」と記載しているものが清瀬市在宅介護実態調査、そして、「本調査は、市内にある介護保険事業所(1法人に対し1通)を対象としています。」と記載しているものが清瀬市サービス事業所調査でございます。</p> <p>また、画面に前回からの修正箇所の一覧をお示ししておりますので、こちら資料と併せてご覧いただきながら説明をお聞きいただければと思いますので、よろしくお願いたします。</p> <p>まずは始めに、清瀬市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査からご説明いたします。ページを2枚おめくりいただき、問5 体を動かすことについてでございます。「(6) 週に1回以上は外出していますか」という、外出に関する設問について、具体的に、どこに外出しているかを何う項目があってもよいのでは、というご意見をいただきましたので、新たに、「(10) 普段、外出する際の外出先はどこですか」という項目を追加いたしました。</p> <p>次に、ページを3枚おめくりいただき、10ページをご覧ください。問8 地域での活動についての「(5) 地域活動を運営する上で必要なものは何ですか」という設問で、選択肢に「移動手段の整備・充実」を加えてはどうかというご意見をいただきましたので、今回、選択肢に加えております。</p> <p>次に、ページを1枚おめくりいただき、問10 健康についてでございます。</p>
--	---

「(6) お酒は飲みますか」という設問について、飲酒量や時間帯が問題となっており、アルコール依存の把握にも有益ではないか、というご意見をいただきました。このため、「お酒を飲みますか」の問いに対し、「ほぼ毎日飲む」「ときどき飲む」と回答した方に対し、次に「1日あたり、清酒に換算してどれくらいの量を飲みますか」という、飲酒量を伺う項目を追加しました。

次に、ページを1枚おめくりいただき、問11 認知症についての「(4) 認知症についてどのようなことに関心がありますか」という設問です。選択肢の8は、修正前は「認知症の人や家族を支える認知症カフェや家族会について」としておりましたが、「認知症カフェ」と「家族会」について、どなたにもわかりやすいよう、「集いの場」という表現に修正しております。

次に、問12 介護保険・福祉制度、サービスについてです。「(5) 高齢者への虐待に気づいたとき、どこに相談しますか」という設問の選択肢に、修正前は「ふれあい協力員」を入れておりましたが、前回の調査では「ふれあい協力員」と回答した方がほとんどいなかったため、今回は選択肢から除くことといたしました。

次に、ページを1枚おめくりいただき、「(8) 総合事業の以下のサービス等について、あなたは利用・参加したいと思いますか」と、「(9) 総合事業は地域の皆さんが担い手となることで、地域の支え合い体制づくりを推進するものです。以下のサービス等について、あなたは手伝ってみたいと思いますか」と、「(11) 健康づくりや介護予防について、どのような事業があれば参加してみたいと思いますか」という設問です。これらについて、既に利用・参加している場合を加えてはどうか、というご意見をいただきましたので、それぞれの質問文の最後にカッコ書きで「既に利用・参加しているものを含む」「既に手伝っているものを含む」「既に参加している場合を含む」を加え、回答していただくよう修正いたしました。

次に、その下の(10)で、清瀬市の地域交流の場の充実や介護予防を目的とした各種事業について、①認知度、②利用経験、③今後の利用希望を伺う設問についてです。選択肢で掲げている各種事業に、住民主体で取り組んでいただいている「10の筋トレ」を加えてはどうか、というご意見をいただきましたので、選択肢に加えております。反対に、選択肢から除いた事業が2つございまして、「脳力アップ塾」は事業の見直しを検討していること、「認知症初期集中支援事業」は他の選択肢の事業と異なり、本人の意向により参加・利用するものではないことから、選択肢から除いております。

次に、ページを2枚おめくりいただき、「(17) これからの高齢者福祉施策で、市に力を入れてほしいと思うものはどれですか」という設問です。こちらも、選択肢14の「認知症カフェや家族会」を「集いの場」に表現を変更しております。また、選択肢の19は、修正前は「地域包括支援センターなど相談体制の充実」としていましたが、相談窓口の周知も必要ではないかというご意見を

いただきましたので、「地域包括支援センターなど相談窓口の周知と相談体制の充実」に変更いたしました。

次に、21 ページの「(19) 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で生活状況に変化はありましたか」の設問です。選択肢に「人との交流が減った」を追加しております。

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の修正は以上でございます。

つづいて、在宅介護実態調査の修正箇所についてご説明いたします。

アンケート調査票の4 ページをご覧ください。「問 10 在宅の人が利用できる以下の介護サービスについて、利用したい・利用し続けたいサービスはありますか」という設問でございますが、修正前は各選択肢についてサービスの内容の説明のみで表現していましたが、選択肢番号の後ろにサービスの名称を加えることで、どのサービスがどんな内容なのか、分かりやすくなるよう修正いたしました。また、この設問自体は、修正前は問 25 ということで、後ろの方に設定をしておりましたが、右側ページの間 12 で各種介護保険サービスの利用状況を伺う設問があり、同じ見開きページにこれらを並べることで、回答者が各介護保険サービスがどのようなものなのか分かりやすくなるようにしております。

ここで選択肢に一部誤りがございます。4 ページ問 10 の選択肢の中で、本来、選択肢 13 番の小規模多機能型居宅介護の後に、14 番として看護小規模多機能型居宅介護を載せるべきところですが、こちらが抜けてしまっております。申し訳ございません。アンケート調査本番には、選択肢の 14 番に看護小規模多機能型居宅介護を加え、その下の認知症対応型共同生活介護を 15 番に訂正させていただきたいと思っております。

次に、15 ページの間 26 介護保険・福祉制度、サービスについての (10) をご覧ください。こちらでは、高齢者の自立や生活支援を支えるための保健福祉サービスの①認知度、②利用経験、③今後の利用希望を伺う内容となっております。この設問の選択肢のうち、7 番ですが、修正前はごみの戸別収集としておりましたが、令和 2 年 10 月よりごみの戸別収集が始まっており、特に保健福祉サービスに限ったものではないことから、選択肢 7 番を「ごみのふれあい収集」に修正しております。

在宅介護実態調査の修正箇所は以上でございます。

最後に、サービス事業所調査です。

資料の 11 ページをご覧ください。問 15 の (11) は、修正前は外国人材の活用について、経済連携協定に限定した設問になっていましたが、昨今の介護人材不足の現状を踏まえ、経済連携協定に限定せず、広く外国人材の活用をどのように考えているかを伺う設問に修正しております。

次に、ページを 1 枚おめくりいただき、12 ページの間 16 「(1) 事業所運営において、お困りのこと、課題となっていることはありますか」という設問で

す。ヘビークレーマーや悪質なクレマー及び利用者や家族からの職員へのハラスメント行為が増えており、その対応に時間的・精神的に大きな負担になっているとのご意見をいただきましたので、選択肢 16 に「ハラスメント対策」を加えることとしました。

次に、13 ページの「(3) 清瀬市内で介護サービス事業を展開するうえで、清瀬市に支援・充実してほしいと思うことはありますか」という設問についてです。先ほどの介護人材の活用の設問のように、今後、介護業界では外国人の活躍の場が開かれていくであろうことから、その支援策として選択肢 7 に外国人介護従事者に対する居住支援と、その下の選択肢 8 に介護従事者に対する居住支援を追加しております。

最後に、画面の新旧対照表にはございませんが、資料の 14 ページの間 17 では、今後の施策展開を検討するため、介護保険事業所等におけるデジタルトランスフォーメーションについて何う設問を追加いたしました。

以上が委員の皆様からのご意見を基に修正した箇所でございます。その他、軽微な表現の修正等を加えておりますが、詳細は割愛させていただきます。事務局からの説明は以上です。

【委員長】

ありがとうございました。それでは 1 つ 1 つ見ていきましょう。まず最初が 65 歳以上の認定を受けていない方と、要支援 1・2 を受けている方を対象にしたアンケートですが、いかがでしょうか。

【委員】

外出先を問う設問で、すべて〇とありますが、これは選択肢が少ないように思います。2 番のサロンについては、「サロン等集いの場」と入れた方がいいように思います。5 番のスーパー・コンビニとありますが、それだけではないと思うので、「スーパー・コンビニ等買い物」と入れた方がいいと思います。それから追加で「習い事」や、お仕事・ボランティアをされている方もおられると思うので、「仕事」「ボランティア」を追加した方がいいと思います。

8 ページ問 7「毎日の生活についての 2 番バスや電車を使って一人で外出していますか」に（自家用車でも可）とありますが、自転車の方が 65 歳以上は非常に多いので、「バス・電車・自転車」と入れた方がいいと思います。

11 ページ問 9「たすけあいについて、愚痴を聞いてくれる人はいますか」の選択肢 5 番の「近隣」というのは分かりにくいと思うので、「近隣または近所の親しい方」の方がいいと思います。それから 9 番として「趣味の仲間」を入れた方が、「その他」にいちいち書くよりも、選択肢として入れておいた方がいいと思います。同じように「近所の親しい人」「趣味の仲間」というのを問 9（2）から（4）まで入れた方がいいと思います。

【事務局】

問 5「(10) の外出先の選択肢」については、2 番については「サロン等集

いの場」にしたり、5番については「スーパー・コンビニ等買い物」と柔軟に答えやすくなるように、事務局の方で再度検討したいと思います。外出先の選択肢については、市の独自項目なので修正可能ですが、問9は国の設定している調査項目になるので、ここについては再度確認した上で、答えやすいように変えられるようであれば、検討したいと思います。変更できない時はご了承くださいと思います。

【委員】

ニーズ調査と在宅調査、両方に関係するのですが、年収額を問う欄がありますが、この区分が大変細かいように思います。9区分になっていますが、前回の説明の時に、他の項目とクロス集計をする時に必要だという説明を受けましたが、前回調査の結果を拝見すると、400万円以上の方は人数も少なく、傾向も似通っているのでは、5番以降を400万円以上というように縮めてはどうかと思います。それぞれの標本数も少ないし、前は孤独感との関係を明らかにしていましたが、400万円以上の場合、それほど大きな差は見られなかったため、細かい区分で聞くのは、あまり意味がないのではないかと思います。

それからニーズ調査の14ページ問11「(4) 認知症についてどのようなことに関心がありますか(3つまでに○)」とありますが、私が実際に認知症の家族を抱えていて思うのは、3つまでに限定する意味があるのか、もし私が答えるとしたら、認知症の症状や介護の仕方や、日常生活上の注意についても、もちろんそうですが、認知症に関する相談窓口や、認知症高齢者が利用できるサービス等についても知りたいと思っていましたので、3つまでに限定する意味は何か疑問に感じたので、申し上げました。

【事務局】

年収額を問う設問については、事務局の方でも年収の幅を広げてはどうかと検討したのですが、前回の調査でも同様の形で設問を設定していて、経年変化を把握するために、今回も100万円単位での選択肢を設定し、前回と変わらずお示ししています。ただ400万以上は少ないというのが清瀬市の現状ですので、年収額が高い方については、再度事務局の方で検討したいと思います。問11(4)については、3つに限定するか、関心のあるものすべてに○にするか、再度事務局で検討したいと思います。

【委員】

回答でいくつまでと限定しているのが他にもあります。例えば問12(17)ですが、制限している意味がわからないので、制限しているものについてはもう一度検討してもらえるとありがたいと思います。

あと、12ページ「(7) 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する相手を教えてください」で、何かあった時という表現が大変曖昧で分かりません。前のページで「相談する相手として、心配事や愚痴を聞いてくれる人はいますか」に連動しているのか分かりませんが、何かあった時とアンケー

トで聞かれた時に、聞かれた人が何か分からないのではないかと気になりました。

【事務局】

問 12 「(17) これからの高齢者福祉施策で市に力を入れてほしいものはどれですか」ということで、人によってはすべて力を入れてほしいという人もいると思いますが、アンケート調査の結果を計画の施策に反映させるには、市として特に力を入れるものを選択しないといけないということから、今回3つまで選んでくださいと絞る形で設問しています。それ以外にも選択肢を絞って回答する質問がありますので、これについては再度確認し、修正できるものがあれば修正させていただきたいと思いますが、すべてに○とすると、市の方で対応しきれない部分も出てくると思いますので、絞って回答するものは施策に反映するという形で、そういった意味合いもあるという事でご理解いただければと思います。

それから12ページ問9(7)については、国が設定したオプションの調査項目なので、表現については市で修正するのは難しいので、このままでお願いしたいと思います。

【委員】

20ページ問17の選択肢が22のうち、認知症関連が4項目あって、あとの分野は就労支援などざっくりとしていて、分類の仕方がアンバランスではないかという意見ですが、その点はいかがですか。

【事務局】

選択肢の設定の仕方について、認知症施策について4つに分けてしまっているので、これを3つ選んでしまうと、他の施策が選択できないので、選択肢の分け方については「認知症について」と大まかに設定して、他の選択肢も選べるように、検討したいと思います。

【委員】

ニーズ調査の6ページ問6(6)について、何故朝食だけなのですか。

【事務局】

この項目については、庁内の別の部署で食育計画を作っていて、食育計画を策定する上で、まずは朝食を食べましょうということで、今どれだけの人が朝食を食べているのか調べたいということで、そのタイミングで今回高齢者福祉計画・介護保険事業計画のアンケート調査をするということで、今回計画の実態を把握する上で、朝食について限定をして設問として載せています。

【委員】

4ページ・5ページについて、設問で(6)外出していますかとき、(9)で外出する際の移動手段はとなっていますが、順番として6・9・10・7・8という形にした方がいいと思います。

【事務局】

問5の(1)から(7)までが国必須の調査項目になっていて、(8)は国のオプションです。(9)は市独自のものですが、国必須の質問項目の中に、市の独自の項目を加えていいのか確認したいと思います。

【委員】

7ページ(12)歯の数と入れ歯の状況についての質問ですが、インプラントの場合はどうなるのでしょうか。

【委員】

インプラントは自分の歯として換算します。

【委員】

3つのアンケートのタイトルに正式な調査名がどこにも書いてないので、小さくでも、それぞれの調査票に入れておいた方がいいと思います。本文の所に、「アンケート調査を実施する運びとなりました」とあるので、その後に、正式な調査名を入れてもいいと思います。

それと、設問数が多く、回答するのが大変だと思うのですが、問1から問4くらいまでは、一気に来ているのですが、問5からは階構造の質問が多いのですが、文字が本文と同じ大きさに区切りがないので、問5からは文字を大きくしたり太くしたりすると、ここまで来たという達成感があり、答えやすいと思います。

あと地域包括支援センターや地域権利擁護福祉事業、10の筋トレ等、知らない人もいると思うので、アンケートとは別に用語集のようなものが50音順についていて、分からない用語はそれを見るとその内容のものが書いてあるというような資料がついているといいと思いました。

あと意見書にも書きましたが、すき間にイラストが入っていて、これはフリー素材の非常によく見るイラストですが、あまり意味のないイラストなので、10ページ問9の前に、ごみ捨て場にいる人たちのイラストがありますが、例えば清瀬の「きらり」がいて、吹き出しで「あと何問だよ」と入れて、書く人を応援するようなコメントがあると、頑張ってくれてくれるのではないかと思います。

【事務局】

各アンケートの表紙に正式名称を加える形で修正したいと思います。中身についても文字の大小であったり、太字にするなどの工夫は必要だと思いますので、レイアウトについては、先程の話のイラストも含めて、検討したいと思います。また用語集についても検討してみたいと思います。

【委員】

問12の(11)健康づくりや介護予防について、どのような事業があれば参加してみたいと思いますかの選択肢の内容は、すべて清瀬市で行っている事業なののでしょうか。

【事務局】

こちらについては、既に清瀬市で行っている事業です。

【委員】

わかりました。もしそうでなかったとしたら、既に参加している場合も含んでしまうと、何をこの結果から得たいのかが分かりづらくなると思ったので、既にやっている事業ということであれば、問題ないと思います。

【委員長】

次は在宅介護実態調査の中身を見ていきますが、いかがでしょうか。

【委員】

この在宅調査は、どなたに質問をして、どなたが答えるのかがころころ変わるのですね。そこがアンケートを答える立場で見ると分かりにくいです。最初は調査対象者・ご本人で始まりますが、3枚めくると、ここからは介護をしている方にお伺いします、それから1枚めくると、再びすべての人にお伺いしますとなっていて、分かりにくいです。もう少し整理して、調査対象者が答える部分と、介護している方が答える部分を整理して、答える側が分かりやすくしてほしいと思います。

あと、8ページの主な介護者の方の年齢・性別・属性を問う設問がありますが、今回の趣旨とは違うかもしれませんが、20歳未満の方のヤングケアラーの問題も出てくるとは思います、ヤングケアラーについての設問の要否について教えていただきたいと思います。

【事務局】

今ご指摘頂いた箇所は国の必須項目で、市の方で修正は難しいと思いますが、レイアウト等を検討して、分かりやすくなるよう検討したいと思いますが、表現を変更するのは現状難しいと考えています。

あとヤングケアラーの把握については、この調査とは別で改めて検討したいと思います。

【委員】

7ページの下から3行目に「ご本人（認定調査対象者）」という文言がありますが、これはどういう意味ですか。

【事務局】

こちらは恐らくミスで、正しくは「ご本人（調査対象者）」です。申し訳ございません。

【委員】

調査票の最初のページのおねがいの所に、例えば他の市だと、「要介護認定を受けている方」「主に介護している方」というのを大きく書いてあるのを見たことがあります。現状のままだと、表紙の下段に「できるだけ宛名のご本人がご回答ください。」とあり、ここだけを見ると、基本的には本人が答えて、家族は答える所はないと捉えられる可能性がある、これは明らかに家族も調査対象に含まれているので、それが明確にわかるように、表紙に書かないと、

家族は回答しないのではないかと思います。1つの調査票の中に、回答者が複数入ってくるような場合、例えば8ページから12ページはご家族に書いてもらう分ですというように、最初に書いてあった方が親切だと思います。今のままでは家族も答える調査票だと分からないのではないかと思います。

【事務局】

確かに表紙にまとめて書いた方が、ご家族等の協力も得られると思いますので、表紙の表現については再度検討したいと思います。

【委員】

例えば11ページの「ここからは再び、すべての方におうかがいします」とありますが、このすべての方は誰を指すのですか。本人ですか。介護者ですか。

【委員長】

この質問の構造だと、ここからはどちらが答えたか分からなくなりますね。本人が答えているかもしれないし、ご家族が答えているかもしれないし、分からなくなるという指摘だと思いますが。

【委員】

すべての人のお答えいただく目的が、本人でも家族でもいいのか、本人にも家族にもこたえてもらいたいのか、カウントの仕方がどちらか1ポイントでいいのか、2ポイントにしたいのかによって、2ポイント必要なら、調査票自体を本人用と家族用に分けた方が分かりやすいのではないかと思います。

【事務局】

すべての方にうかがう内容については、市の独自項目も含まれていて、変更することも可能ですので、検討したいと思います。

【委員】

11月にはアンケートを発送するという事なので、細かい部分ですが気になった所があります。3ページ問9で脳血管疾患（脳卒中）・心疾患（心臓病）等あり、一番気になったのは5番の腎疾患（透析）とありますが、腎疾患イコール透析というわけではないので、6番の筋骨格系疾患も骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等と「等」が入っているので、選択肢1・2・5番にも「等」を入れた方が正しいと思います。

4ページ問10の7 短期入所（ショートステイ 施設へ泊まるサービス）とありますが、これは「へ」ではなく「に」ではないかと思いました。あと13番小規模多機能型居宅介護に下線が引いてありますが、これは何のために引いている下線なのか謎で、特に意味がないのであれば、外しておいた方がいいと思いました。

14ページ（4）あなたは、普段福祉に関する情報を、主にどこから入手しますか。の選択肢8番で市の広報誌とありますが、広報紙だと思います。非常に細かいところですが以上です。

【事務局】

問 9 については国の項目ですので、修正について可能かどうか確認したいと思います。

問 10 の 13 番に下線が引いてある理由ですが、看護小規模多機能型居宅介護をここに加えることで、介護と看護を分ける形で強調したかったのですが、そこ自体が抜けてしまっていて、今回分かりづらくなっていました。小規模多機能型居宅介護と看護小規模多機能型居宅介護の説明を分ける意味合いで下線を引いているのが理由になります。

問 26 (4) については、「広報紙」に修正します。問 10 のショートステイについても修正します。

【委員】

10 ページ問 20 の選択肢として、5 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）とありますが、通常身だしなみというのは、容姿や衣服を整えることという意味があるので、違和感があります。

【事務局】

こちらの国の項目になるので、修正については確認した上で、対応させていただきたいと思います。

【委員】

6 ページ問 13 で介護保険サービスを利用していない理由を問う質問がありますが、気になるのが選択肢の 6 番で、利用したいサービスが利用できない、身近にない。という項目があります。全体の設問としては、理由をパーセンテージで知りたいのかなと思うのですが、この高齢者保健福祉計画策定の、今回の委員会の趣旨を考えた場合、サービスが利用できない理由は何なのか、それから身近にない資源は何なのかというのが把握できるといいと感じました。社協でフレンドサービスという生活支援サービスを行っていますが、要介護認定を受けている方で、介護保険が使えないという形で、フレンドサービスの相談をされる方もいます。質問が多くなってしまう事や、そういった難しさもあると思うので、どうしてもというわけではないですが、もし可能であれば検討していただきたいと思いました、

それから 15 ページ (10) で④家具転倒防止器具助成が誤字であると思いました。⑩の配食サービスはレイアウトを修正した方がいいと思いました。

【事務局】

問 13 で選択肢 6 番を選ばれた方については、もう少し深堀をして、具体的にどういったサービスを利用したいのか問う事も必要かと思うので、例えば問 13 の (2) として、選択肢 6 番を選ばれた方について聞いて、具体的にどのサービスか聞くような形で検討したいと思います。

あと、15 ページ (10) ④⑩については修正したいと思います。ご指摘ありがとうございます。

【委員】

問 10 の選択肢に訪問入浴が入っていない理由はなんですか。抜けているだけなのか、あえて抜いているのか分からなかったなので、確認させて下さい。

【事務局】

こちらについては、訪問入浴も加える形で修正したいと思います。

【委員】

5 ページ問 12 に大きな表がありますが、12 ページにも同じような表があつて、12 ページの表は大変分かりやすいですが、5 ページの表は回答しづらいので、12 ページのように統一したらいいと思うのですがいかがですか。

【事務局】

レイアウトの方法について検討したいと思います。

【委員長】

3 つ目の事業所向けアンケートに入りたいと思います。こちらについてはいかがでしょうか。

【委員】

14 ページ問 17 の 2 行目に「時億的」とありますが、時億的とは何でしょう。

【事務局】

これは「持続的」の誤りです。申し訳ございません。

【委員】

問 17 のデジタルトランスフォーメーションの効率化というのと、私はマイナンバーカードの想定をしてしまうのですが、これはマイナンバーカードの活用というのは、ここには入らないのでしょうか。

【事務局】

これは事業所の ICT 機器の導入等を問う内容で、マイナンバーカードについては、ここには含めない形になります。

【委員】

人材についての設問があつて、大変ありがたいと思うのですが、9 ページの(6)くらいに求人に要する費用がどれくらいかかっているのか関心があるので、聞いてもらえればと思います。

問 17 の説明文で 2035 年には介護職員が不足するとなっていますが、2035 年でいいのかと思いました。

3 ページ問 4 で「決算が確定している最新の会計年度の経営状態が赤字であったサービス」とありますが、これは福祉の事業を運営していると、繰入金等を入れて、事業の赤字を消した後での決算書の数字になってしまい、実態が浮かび上がってこないのではないかと思うので、赤字の事業の採算性を考えるための質問であるのであれば、質問の条件をしっかりとあげないと、正確な答えは出てこないと思いました。

【事務局】

最初の求人に関する費用については、大変興味深いと思いますので、加える

形で検討したいと思います。

問 17 の説明文の 2035 年というのは、あえて 2035 年と入れる必要性はないので、削除する形で検討したいと思います。

問 4 については、事業所の方で答えやすいように、要件を加えて、伺うような聞き方に修正したいと思います。

【委員長】

では一通り 3 つとも見てきましたが、もう一度全体を通して気になることがあればお願いします。

【委員】

ニーズ調査と在宅調査を合わせると、合計が 2100 人位になっていて、高齢者の方々は該当しないかもしれませんが、外国人の方がどれくらいいるのか、外国人の方にこのアンケートが行っても、答えようがないのかと。その辺が少し気になりました。

【事務局】

無作為抽出をする中では、外国人の方がアンケート調査は対象になってくるので、このままの形で送付すると、日本語がわからなかったり。

【委員】

統計的にそれは仕方がないと処理できるものなのか、そこを憂慮しなければいけないのか、それは数によって変わるとは思います、その辺も加味しているのであれば構わないのですが。

【事務局】

清瀬市にお住いの 65 歳以上の外国人の方は、確かにたくさんおられますが、アンケート調査を今回実施して、回答いただいて、それが正確な指標になるためのパーセンテージで返ってくると見込んだ上で、配布する予定です。

【委員】

事業所調査の 8 ページ問 15 で、「貴事業所の介護人材のことについて、教えてください。とありますが、これは介護職員だけなのでしょう。看護職やリハビリ職は含まないのでしょうか。また小さな事業所では事務職員がいるだけで、介護の方が介護に専念できるとか、そういう事もあると思うので、介護職員以外の数も質問の中に入れておいた方がいいのではないかと思います。

【事務局】

ここはあくまで介護人材について事業所に伺う内容になっていますので、介護職員に限定した形で設定したいと思います。

【委員長】

他にいかがですか。よろしいですか。では事務局の方お願いします。

【事務局】

下垣委員長ありがとうございました。

なお、本日の議題に対し、発言しきれなかったご意見やご質問、また、後か

	<p>ら思いついたご意見ご質問等がございましたら、先日送付しました意見書様式にご記入の上、11月1日（火）までに介護保険課宛てにご提出をお願いいたします。いただいた意見等の反映につきましては、事務局及び委員長に一任の上、アンケート調査の内容を決定させていただきたく存じますが、委員の皆様よろしいでしょうか。</p> <p>では、そのようにさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>次第 4. 事務局からの連絡事項</p>	<p>【事務局】</p> <p>それでは次に、次第の4番 事務局からの連絡事項でございます。</p> <p>次回、第3回の委員会開催予定でございます。次回は、令和5年2月か3月の開催を予定しております。詳細が決まりましたら開催通知にてお知らせいたしますので、年度末のご多用の時期とは存じますが、可能な限りご参加くださるようお願い申し上げます。その際の主な議題は、アンケート調査結果の報告となる予定でございます。</p>
<p>次第 5. 閉会</p>	<p>【事務局】</p> <p>それでは本日予定していた議事はすべて終了いたしました。</p> <p>以上をもちまして、第2回評価策定委員会を閉会いたします。本日はありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>